

編 集： 営業部



↑ Check ↑

令和7年始動
本年も宜しくお願い申し上げます。



昨年1名減となりましたが、どうにか物件をこなす事ができました。今年も皆様方のご尽力を頂きながら、課員一同、安全と品質を保ち、お客様のご期待にお応えできるよう、一丸となって頑張っていきたいと思っております。

澱粉工場 見学ツアー ～清里編～

2024年10月22日、JA清里町農業協同組合様のご協力をいただき「清里澱粉工場」を見学させていただきました。弊社は主に発電所や変電所向けの装置を製造していますが、実は、JA清里町農業協同組合様や上川北部農協合理化澱粉工場様、南十勝農産加工農業協同組合連合会様にも、馬鈴薯や麦の「受入システム」を納入しています。今回、その「受入システム」を含め、澱粉工場の取り組みについて学ぶことができました。普段、営業事務と編集を担当している私も同行しましたので、その様子をレポートします。

◆「受入システム」とは??

澱粉工場や麦乾工場に搬入される大量の作物のデータを帳票化し、管理するためのシステムのことです。具体的には、農家の方がトラックで馬鈴薯を搬入する際、運転手は「ICカード読み取り機」にICカードをタッチします。この操作により「生産者名」・「重量」・「品目」等のデータが伝票に紐づけられます。馬鈴薯の場合は、水洗い後にライマン計で測定した「澱粉の含有量」も記録されるため、効率的なデータ管理が可能となっています。



◆見学スタート！

最初に、座学で職員の方による工場概要の説明から始まりました。1日に約1,200tもの原料を処理し、約290tの澱粉を製造しているという規模感に大変驚かされました。その後、工場内にてセンサーで馬鈴薯と石を分別する「軽石除去装置」、磨り潰し精製されて液状にな

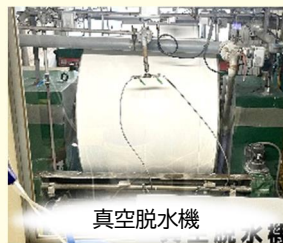


った馬鈴薯を脱水し、粉状にする「真空脱水機」等、馬鈴薯が真っ白な澱粉に変わるまでの一連の工程を間近で拝見しました。さらに、工場内の各所に設置されている「ITVカメラ」が、弊社納入品である聞き、非常に嬉しく、意以外でも重要な役割の一部に貢献することができました。

◆職員の方から教わった豆知識♪

馬鈴薯澱粉は粒子が大きく、粘りが強いので、その特性から「から揚げ」に最適だそうです。特に関西や九州への出荷が多く、大分県の一部のから揚げにも使用されています。

最後に、見学のご対応をいただいたJA清里町農業協同組合の皆様には心より感謝申し上げます。次回は「南十勝農工連澱粉工場」の見学をお伝えしますので、楽しみにお待ちください！



ESC Topic／2025 年の始まり

各課長より今年の抱負（続き）

製造部長兼製造課長 柿崎 淳

2025年は当社も業務改善を進める年と考えています。未だに部品部材の価格や納期など問題は尽きませんが、顧客に満足して頂ける品質の良い製品製造を効率化と共に製造部一丸となって取り組んで参ります。

製造部 購買課 課長 久田 昭憲

原材料の高騰や為替レートの変動等が要因で物価高騰が続き、また、配送料高騰も重なりコスト管理が難しい状況ですが、情報収集・価格交渉を適切に行い、モノづくりに貢献したいと考えています。

経営管理部 品質管理課 課長 横井 義了

昨今、大企業に於いても品質事故が発生しております。当社の品質マネジメントシステムが、日々の業務と一体化となるよう継続的改善を各部署と推進して、品質維持向上に努めて参ります。

営業部 課長 青木 史生

引き続き多忙な年となりますが、電力インフラに軸足を置きつつ、将来を見据え、これまでの枠に捉われないワクワクするような仕事を創造していきたいと思っています。

WG の取り組み & 本州出張レポート

現在弊社では若手社員・中堅社員からなる数名でワーキンググループ(通称 WG)を結成し、弊社が抱える「人手不足」などの様々な課題解決の一助となるべく日夜活動をおこなっています。その活動の一環として 10 月下旬に情報収集の名目で本州へ出張に行っておりましたので、概要・感想を簡単ではありますが紹介させていただきます。

1 日目は名古屋で開催された EXPO に参加。「製造業の人手不足対策 EXPO」をはじめとして、DX 化・業務効率化・省力化等に関するツール・ノウハウ等を全国から集まった企業各社が紹介しており、会場の熱気と先進的な技術の数々に圧倒されました。

2 日目は横浜にあるリタール社を訪問。ドイツに本社を構えるリタール社では、製図ツール(CAD)と連動して配電盤の設計・部品発注・製造までを自動化するシステム等、世界レベルの最先端技術を扱っており、その一端に触れることで強い刺激を受けました。当社への導入はすぐには厳しいものの、同じ製造業に身を置く者として一つの完成形を知ることができたのは非常に得難い体験となりました。

2日間を通じて、弊社においても将来を見据えた業務改革が必要な時期に差し掛かっていると認識しました。今回感じたことを胸に、引き続き活動を継続していきたいと考えています。また機会があれば取組を紹介したいと考えていますのでご期待ください。



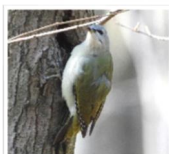
ESC の森 Information



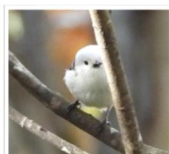
スノーシューも楽しめる



車庫で野鳥観察



ヤマゲラ♀



枝に隠れながらカメラ目線の
シマエナガ

シマエナガは本州のエナガの亜種で、北海道で生息している野鳥です。冬になると夏毛から真っ白な冬毛に代わり「雪の妖精」と言われています♪



0-44-00134-0, \$1.95

編 集 後 記

今月号で、編集担当を別の方へバトンタッチすることとなりました。今後も素敵なESCの情報を発信してまいりますので、お楽しみください(^^)微力ながら 2025 年も皆様の笑顔が多い一年になることを祈っております☆

営業部 編集担当